

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：主のために]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数：47 / 聖句等の総数 33250 (主のために)52個 ]
K 創世記	8:20 ノアは主のために祭壇を築いた。そしてすべての清い家畜と清い鳥のうちから取り、焼き尽くす献げ物として祭壇の上にささげた。
K 創世記	12:7 主はアブラムに現れて、言われた。「あなたの子孫にこの土地を与える。」アブラムは、彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。
K 創世記	12:8 アブラムは、そこからベテルの東の山へ移り、西にベテル、東にアイを望む所に天幕を張って、そこにも主のために祭壇を築き、主の御名を呼んだ。
K 創世記	13:18 アブラムは天幕を移し、ヘブロンにあるマムレの檜の木のところに来て住み、そこに主のために祭壇を築いた。
K 出エジプト記	12:42 その夜、主は、彼らをエジプトの国から導き出すために寝ずの番をされた。それゆえ、イスラエルの人々は代々にわたって、この夜、主のために寝ずの番をするのである。
K レビ記	6:15 油注がれたアロン系の祭司がこれをささげる。これは不変の定めであり、それを主のために完全に燃やし尽くして煙にする。
K レビ記	23:34 イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の十五日から主のために七日間の仮庵祭が始まる。
K 民数記	9:14 あなたたちのもとに寄留する者が、主のために過越祭を祝おうとするならば、過越祭の掟と法に従って祝わねばならない。この掟は寄留者に対しても、その土地に生まれた者に対しても、あなたたちに等しく適用される。
K 民数記	31:3 モーセは民に告げた。「あなたたちの中から、戦いのために人を出して武装させなさい。ミディアン人を襲い、ミディアン人に対して主のために報復するのだ。」
K 申命記	16:8 六日間酵母を入れないパンを食べ、七日目にはあなたの神、主のために聖なる集まりを行い、いかなる仕事もしてはならない。
K 申命記	16:10 そして、あなたの神、主のために七週祭を行い、あなたの神、主より受けた祝福に応じて、十分に、あなたがささげうるだけの収穫の献げ物をしなさい。
K 申命記	16:15 七日間、主の選ばれる場所でああなたの神、主のために祭りをを行いなさい。あなたの神、主があなたの収穫と手の業をすべて祝福される。あなたはただそれを喜び祝うのである。
K 申命記	27:5 またそこに、あなたの神、主のために祭壇を築きなさい。それは石の祭壇で、鉄の道具を当ててはならない。
K 士師記	6:26 あなたの神、主のために、この砦の頂上に、よく整えられた祭壇を造り、切り倒したアシェラ像を薪にして、あの第二の雄牛を焼き尽くす献げ物としてささげよ。」
K 士師記	7:18 わたしとわたしの率いる者が角笛を吹いたら、あなたたちも敵の陣営全体を包囲して角笛を吹き、『主のために、ギデオンのために』と叫ぶのだ。」
K 士師記	7:20 三つの小隊はそろって角笛を吹き、水がめを割って、松明を左手にかざし、右手で角笛を吹き続け、「主のために、ギデオンのために剣を」と叫んだ。
K サムエル記上	7:17 ラマに戻った。そこには彼の家があった。彼はそこでもイスラエルのために裁きを行い、主のために祭壇を築いた。
K サムエル記上	14:35 こうして、サウルは主の祭壇を築いた。これは彼が主のために築いた最初の祭壇である。
K サムエル記下	8:11 ダビデ王はこれらの品々を、征服したすべての異邦の民から得た銀や金と共に主のために聖別した。
K サムエル記下	24:21 言った。「どのような理由で主君、王が僕のところにおいてになったのですか。」ダビデは言った。「お前の麦打ち場を譲ってもらいたい。主のために祭壇を築き、民から疫病を除きたい。」
K 列王記上	6:2 ソロモン王が主のために築いた神殿は、奥行きが六十アンマ、間口が二十アンマ、高さが三十アンマであった。

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：主のために]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数：47 / 聖句等の総数 33250 (主のために)52個]</p>
K 列王記上	9:25 ソロモンは、主のために築いた祭壇に年に三度、焼き尽くす献げ物と和解の献げ物をささげ、主の御前で香をたいた。こうして彼は神殿を完成した。
K 歴代誌上	18:11 ダビデ王はこれらの品々を、すべての異邦の民、すなわちエドム、モアブ、アンモン人、ペリシテ人、アマレクから得た銀や金と共に主のために聖別した。
K 歴代誌上	21:22 ダビデはオルナンに言った。「この麦打ち場を譲ってもらいたい。わたしはそこに主のために祭壇を築かなければならない。代価を十分支払ってそれを譲り受け、民から疫病を除きたい。」
K 歴代誌上	22:5 ダビデは、「わが子ソロモンは、主のために壮大な神殿を築き、その名声と光輝を万国に行き渡らせるためにはまだ若くて弱い。わたしが準備しなければならない」と言って、死ぬ前に多くの準備をした。
K 歴代誌上	22:6 ダビデはその子ソロモンを呼び、イスラエルの神、主のために神殿を築くことを命じて、
K 歴代誌下	2:3 わたしはわが神なる主の御名のために神殿を建て、これを主のために聖別して、その御前に香草の香をたき、絶えずパンを供え、朝に夕に、安息日と新月祭、我らの神なる主の祝祭日に、焼き尽くす献げ物をささげ、この事がイスラエルにおいていつまでも守られるようにしようとしています。
K 歴代誌下	2:5 しかし、この方のために神殿を建てる力が誰にありましようか。天も、天の天もこの方をお納めすることができないからです。主のために神殿を建てようとするわたしは何者でしょうか。神殿はただ主の御前に香をたくためのものでしかありません。
K 歴代誌下	2:11 彼はまたこう言った。「天と地をお造りになったイスラエルの神なる主はたたえられますように。主はダビデ王に賢明で聡明な洞察力のある子をお与えになり、その子が主のために神殿を、国のために王宮を建てようとしています。」
K 歴代誌下	19:6 彼は裁判官に言った。「人のためではなく、主のために裁くのため、自分が何をすべきか、よく考えなさい。裁きを下すとき、主があなたたちと共にいてくださるよう。」
K 歴代誌下	30:1 ヒゼキヤはすべてのイスラエルとユダに使者を遣わし、またエフライムとマナセには書簡を送り、エルサレムの主の神殿に来てイスラエルの神、主のために過越祭を行うように呼びかけた。
K 歴代誌下	30:5 彼らはそれを実行に移し、ベエル・シェバからダンに至るまですべてのイスラエルに通知を送り、皆がエルサレムに来て、イスラエルの神、主のために過越祭を行うように呼びかけた。規定どおりにその祭りを行っている者は多くなかったからである。
K 歴代誌下	31:6 ユダの町々に住むイスラエルとユダの人々も、牛と羊の十分の一と、自分たちの神、主のために聖別された物の十分の一を運んで来て、次々と積み上げた。
K 歴代誌下	35:3 すべてのイスラエルの教師であり、主のために聖別されたレビ人に、王はこう言った。「イスラエルの王ダビデの子ソロモンが建てた神殿に、聖なる箱を納めよ。あなたたちはもはやそれを担う必要がない。あなたたちの神、主とその民イスラエルに奉仕せよ。」
K エズラ記	4:1 ユダとベニヤミンの敵は、捕囚の子らがイスラエルの神、主のために聖所を建てていることを聞いて、
K エズラ記	4:3 しかし、ゼルババルとイエシュア、他のイスラエルの家長たちは言った。「わたしたちの神のために神殿を建てるのは、あなたたちにはではなく、わたしたちに託された仕事です。ペルシアの王キュロスがそう命じたのですから、わたしたちだけでイスラエルの神、主のために神殿を建てます。」
K 詩編	132:5 主のために一つの場所を見だし／ヤコブの勇者である神のために／神のいますところを定めるまでは。」
K イザヤ書	19:19 その日には、エジプトの地の中心に、主のために祭壇が建てられ、その境には主のために柱が立てられる。
K イザヤ書	40:3 呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え／わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。
S ルカによる福音書	1:17 彼はエリヤの霊と力で主に先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に正しい人の分別を持たせて、準備のできた民を主のために用意する。」
S ルカによる福音書	2:23 それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。
S ローマの信徒への手紙	14:6 特定の日を重んじる人は主のために重んじる。食べる人は主のために食べる。神に感謝しているからです。また、食べない人も、主のために食べない。そして、神に感謝しているのです。

	タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 主のために]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数 : 47 / 聖句等の総数 33250 (主のために)52個 ]
S	ローマの信徒への手紙	14:8 わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものです。
S	ローマの信徒への手紙	16:12 主のために苦勞して働いているトリファイナとトリフォサによろしく。主のために非常に苦勞した愛するペルスによろしく。
S	コリント信徒への手紙 I	6:13 食物は腹のため、腹は食物のためにあるが、神はそのいずれをも滅ぼされます。体はみだらな行いのためではなく、主のためにあり、主は体のためにおられるのです。
S	コリント信徒への手紙 I	9:1 わたしは自由な者ではないか。使徒ではないか。わたしたちの主イエスを見たではないか。あなたがたは、主のためにわたしが働いて得た成果ではないか。
S	ペトロの手紙 I	2:13 主のために、すべて人間の立てた制度に従いなさい。それが、統治者としての皇帝であろうと、